

(様式2)

平成 21 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1595800010	
法人名	社会福祉法人 苗場福祉会	
事業所名	グループホーム雪割草 (立柄山ユニット)	
所在地	新潟県南魚沼郡湯沢町大字土樽151-116	
自己評価作成日	平成21年10月15日	評価結果市町村受理日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.n.kouhyou.jp/kaigosip/Top.do">http://www.n.kouhyou.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人新潟県社会福祉士会	
所在地	新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階	
訪問調査日	平成21年11月25日	

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域との繋がりにおいては、小規模多機能型居宅介護事業所との複合施設のため、定期的なボランティアの訪問なども含め、地域の人同士が交流する機会が多く、グループホーム入居者も地域の中で暮らしているという安心感を持ってもらえるようである。入居後も、週1回、町の介護予防事業に参加している方が何人もおり、地域の中でなじみの関係を継続できている。施設の花壇や地域の方から施設のすぐ前にお借りした畑では、入居者を中心に、楽しみながら野菜や花をそだてているが、農作業を通じ、地域の人との交流がある。また、地域の方から時期の山菜やキノコ、新鮮な採れたて野菜の差し入れがあると、入居者が協力して下さり下さるため、早速その日のメニューに取り入れ美味しくいただいている。今年からは町内会に仲間入りをし、清掃に参加したり、お花見にもお誘いを受けている。また、昨年春に引き続き、今年も公園の花植えに元気な入居者5名、職員3名がボランティアとして参加し、地域の方と一緒に汗を流してきた。今年度は地元保育園児との交流を行い、たくさんのかわいい保育園児を施設に迎えたり、保育園行事に招待いただいた他、施設行事として、地域の人にも参加を呼びかけ、納涼祭を行った。また、年1回小規模事業所と合同で入居者、家族、職員参加のバスハイクで親睦を深めている。医療連携においては、ほとんどの入居されている方は、かかりつけ医が町の協力病院のため、休日や夜間も何かあれば、電話で連絡した上で早期受診に繋げることができている。基本的に、町内の医療機関であれば、無償で受診に付き添うことが可能であるとしているため、現在ほとんどの入居者の受診介助を職員が行っている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者・職員は、「我が家のようにすごしていただける」ことを理念とし、利用者の個性や好みを大切にするとともに、地域との関わりを継続できる生活を支援している。利用者は、畑で野菜を収穫したり、地域の方から頂く野菜やきのこ類を食事に取り入れるなど、自然や季節に触れながらゆったりと生活している。ホームのある地域出身の利用者が多く、ホーム入居後も、地域の介護予防事業である『いきいきサロン』や『お達者倶楽部』に継続的に参加したり、馴染みの商店や理美容院、かかりつけ医との関係を継続している。ホームとしても地域と密に交流できるよう多様な取り組みを行い、地域の保育園・小中学校との交流やボランティアの受け入れ、地域行事への積極的な参加等を行っている。ホーム1階のロビーは町の絵画ボランティアの展示会場にもなっており、利用者や家族、地域住民が交流する場ともなっている。訪問調査時にホームの場所を電話で確認した折、到着すると、利用者がホームの前で待っていて手を振ってくれた。このような光景は日常的とのことで、利用者が日頃から家族や地域住民等と関わりながら暮らしていることがうかがえた。法人としては、職員の育成にも力を注ぎ、年間を通じて研修計画が立案され、職員が段階に応じて継続的に研修を受けられる仕組みがある。職員一人ひとりの目標も設定され、管理者等が個別面談でアドバイスを行うなど目標管理体制が確立している。運営者・管理者は、職員をpushする言動をせず、個々を伸ばすよう心がけており、管理者を中心とした職員間のコミュニケーションも良く取られている。地域に密着したグループホームとして、併設の小規模多機能型居宅介護事業所とともに、ますます地域の福祉拠点としての役割を担っていくことが期待される事業所である。